

2025 年度 部局 FD 活動報告

医学部リハビリテーション学科・リハビリテーション学研究科

| | | |
|---|--|-------|
| <p>1. 各部局のFDの検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください）</p> <p>部局FDの検討・実施体制は、部局教務委員会内に設置している。委員会の構成は、リハビリテーション学支援室教務担当事務3名、理学療法学専攻教員3名、作業療法学専攻教員2名の合計8名である。委員会は、月1回の頻度で開催し（8月は休催）、学内セミナーの周知、カリキュラム、シラバス記載方法の周知、GPC分布確認などを中心に論議している。委員会での審議および報告事項は、部局教授会を通し、各専攻にて周知している。</p> | | |
| <p>2. 教育改善・教育評価・FDに関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催</p> | | |
| 開催日 | 内容（タイトル） | 参加者数 |
| 2025年5月16日13時 | 第1回臨床実習指導者会議（臨床施設参加32名,教員12名） | 44名 |
| 2025年5月16日15時 | 第2回臨床実習指導者会議（臨床施設参加18名,教員12名） | 30名 |
| 2025年7月7日 | 第3回臨床実習指導者会議（臨床施設参加18名,教員12名） | 30名 |
| 2026年3月16日 | 第4回臨床実習指導者会議（臨床施設参加23名,教員11名） | 34名 |
| <p>3. 教育改善・教育評価・FDに関する会議、委員会等の開催</p> | | |
| 会議・委員会名 | 内容・開催日 （複数回の場合は「第1回（*月*日）～について」 「第2回…」と記載） | 委員の人数 |
| 部局教務委員会 | 月1回(水曜日) カリキュラム, 評定, シラバスなど | 8名 |
| 理学療法学専攻会議 | 隔週1回(月曜日) カリキュラム, 評定, シラバス, 臨床実習, 国家試験など | 12名 |
| 作業療法学専攻会議 | 週1回(月曜日) カリキュラム, 評定, シラバス, 臨床実習, 国家試験など | 12名 |
| <p>4. 上記以外の教育改善・FDに関する取組</p> | | |
| <p>1) 自己点検・自己評価</p> <p>厚生労働省通知「理学療法士作業療法士養成施設指導ガイドラインの一部改正」に則り、「教員資格及び教育内容等の自己評価書様式」にて、自己評価を実施し、ホームページ上に公表した。 (https://www.omu.ac.jp/reha/about/self-inspection/)</p> | | |
| <p>2) 2026年度のカリキュラム改訂</p> <p>2026年度の基幹教育科目再編に向けて、カリキュラム改正作業を行った。</p> | | |
| <p>3) 2027年度のカリキュラム改訂にむけたWG</p> <p>理学療法学専攻2名、作業療法学専攻2名の計4名をWGチーム員とし、月1回の頻度で検討を進めている。チーム員に全学の将来構想委員会のメンバーを入れ、リハビリテーション学科・リハビリテーション研究科として、本学の将来構想を踏まえ、他大学との差別化を目指して検討を重ねた。各専攻での議論を経て教務委員会で承認し教授会の承認を得、具体的な変更申請手続きを進めているところである。</p> | | |

5. 年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数〔実数〕（必ずご記入ください）

- ・年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数 （ 24 ）人
- ・所属内の専任教員の人数 （ 24 ）人

6. その他、追記事項

1) 履修証明プログラム

大学院において履修証明プログラム「地域リハビリテーション学コース」を開講している（厚生労働省認定：職業実践力育成プログラム）。事務局2名、リハビリテーション学研究科教員4名の合計6名体制で運営している。受講生は、学部の卒業生をはじめ、他大学の教員、臨床の理学療法士・作業療法士である。2025年度には13期生を迎え、12期生までの総修了生数は366名である。

2) 2025年度の内部質保証スタートアップ事業（ICTを活用した学外臨床実習時の学生・臨床実習指導者・教員のリアルタイム連携システムおよびポートフォリオの構築と学修成果）

昨年度から引き続き、臨床実習における教育効果の向上・深化を目指して臨床実習支援システムを活用している。理学療法学専攻と作業療法学専攻の代表教員3名にて、当システム活用して作成したポートフォリオの確認、利用効果の検討などを行う会議を4回開催した。今後は就職活動におけるポートフォリオの活用状況を検証する予定である。